



に授業内容を簡単に説明します。

・ Education Identities and Spaces

主に教員志望の人を対象にしており、教育形態や教育が行われる空間がこどものアイデンティティとどのように関わっているかということ学びます。私は社会的な視点から教育の在り方を考えたいと思い、選びました。30credit の授業で Seminar（演習）と Lecture（講義）が週に2時間ずつあるため、先生や一緒に受けている現地の学生とも少しずつ話せるようになり雰囲気には慣れてきました。ただ、課題は 1,000word と 2,000word のエッセイの二つで、かなりハードな内容なのでやり遂げられるかどうか不安でなりません。でも後から振り返ったときに「ちゃんと頑張った！」と言えるように取り組んでいきたいです。（余談ですが、この授業は、British Cultural Studies というイギリスの文化について学ぶ留学生向けの教養的な授業との Module crash（時間割がかぶること）があり、こちらも非常に面白そうに興味があったのですが泣く泣く断念しました…。）

・ Globalisation and its Discontents

帝国主義や植民地支配などの歴史的背景を基盤として、グローバル化現象がもたらした貧困や戦争などの負の側面（=不満）について考察します。講義の後、数人のグループごとに先生が提示した問いに対してディスカッションをし、全体で共有します。最終課題は 2000word のプロジェクトで、グローバリゼーションあるいは脱グローバリゼーションの現代プロセスに関するケーススタディを扱います。これは評価加重 100%なので、しっかり計画的に進めていきたいと思います。

・ English for Academic Purpose 3

学術的な英語スキルの強化に焦点をあて、要約やリスニング、リーディング、ライティングなどを幅広く学ぶ授業です。初回授業では英語教育を専攻する学生とペアを作り、一緒に課題に取り組み、作業を進めていくと説明されました。英語科目ではなくて他の専門科目をとるべきかとても迷ったのですが、自分の力だけでは英語をしっかり伸ばせないのも、せつかく来たのだからアカデミックスキルを養いたいと思い履修することにしました。

どの授業においても、学生はもちろん先生の話す英語のスピードや British English にまだまだついていくことができず、耳を通り抜けてしまうことが多いです。留学生と話していても、アメリカやヨーロッパからの学生の英語も聞き取ることが難しく、目を白黒させることが少なくありません。また、日本での授業に比べて、学生の発言量がかなり多いです。教室内の学生数が 15 人くらいであるため、学生と先生の距離が近い活発な雰囲気を感じています。だからこそ、自ら発言したりディスカッションで自分の意見を述べるものうまく膨らませたりすることができず気後れして、英語で組み立てることに苦戦しています。授業前のリーディング課題や授業スライドの確認に時間をかけてコツコツ進めていく必要があると痛感しています。

## ○大学生活について

到着から約3週間が経ち、こちらの生活にもだいぶ慣れて来ました。マンチェスター空港にはバスの送迎のため留学担当の人が立っており非常に安心しました。私は早く着いたので他の留学生と空港内のカフェに行き、自己紹介やおしゃべりをしていました。時間が経つにつれてどんどん新しい学生が加わって、そこで「本当に外国に来たんだ、もう英語でコミュニケーションをするんだ」という実感が湧きました。大学では、到着初日から約1週間は留学生向けのイベントやfreshersの企画が沢山行われており、その中で留学生同士の交流が一気に深まったと感じています。キャンパスにはcosta coffeeやfood court、チャペルや天文台、小さな牧場まであって楽しいです。今度キャンパス探索をしようと思っています！

### ・気候

毎日曇りか雨が續いていて、日本のからっと晴れた空が恋しいです。たまに太陽や青空が見えると嬉しくなります。北部の方だからか、雨が降ったりやんだりと一日の中で天気が変わりやすいです。気温もずっと5°C程度で、体感的にはぐっと冷え込む日もあります。ただ建物の中は比較的暖かいです。また噂通り、イギリス人は傘をほとんど差さずフードをかぶって歩いているのでびっくりしました。私を含めアジア系の人たちが傘を使っているような傾向があります。

### ・住居

私はキャンパス内のLindsayという学生寮に住んでいます。授業を受ける建物までは徒歩7分程度です。周辺には木々が並び鳥の声が聞こえ、そばの敷地では牛も飼われていて、非常に自然豊かで静かです。ただその分灯りがほとんどなく、毎回怖く感じながら帰っています。でも晴れた夜は星が綺麗に見えるので感動しました！私の部屋があるLindsay Courtは、赤煉瓦の外観でとても雰囲気があり古い印象を受けますが、建物の中は比較的綺麗でヒーターが効いていてとても暖かいです。今のところ、部屋でも寒さに苦しむことも全くありません。

私はEn-suiteという部屋に専用トイレとシャワーがあるタイプを選びました。もちろんその分家賃はかなり高いです。でもストレスなく自分の部屋で完結できることにかなり満足しているので、これでよかったと感じています。渡航前に、大学経由で生活用品を買い求めるサイトでベッド用品セットを購入し、到着に合わせて部屋に置いておいてもらいました。大学が提示するクーポンを使えるため、自分で買いに行くのはかなり大変なので事前購入をおすすめします。また壁が薄く、外の人の声が聞こえるだけでなく、廊下のドアを閉める音が響き渡り、かなりうるさくて特に深夜は心臓に悪いです。キッチンも共用で、7人のフラットメイトがいます。一度全部の部屋をノックして挨拶しようとしたのですが全然会えませんでした。キッチンで居合わせた人がWhatsApp(メッセージアプリ)のグループに入れてくれたので、そこで自己紹介をしました。テーブルに日本から持参したお菓子とメッセージカードを人数分置いて挨拶しましたが、未だ会えていない人もい

るので少しもどかしいです。キッチンで誰かと会ったときは、なるべく自分から話しかけたり質問したりして会話を楽しもうと頑張っています。

大学の最寄りのスーパーまでは、バスで20分ほどかかります。キャンパスはかなり広く建物の並びもやや複雑で、バス停も多いです。Aldiというスーパーが安く多くの学生が利用していますが、野菜などの品質が他店舗よりも劣っていたり陳列された商品の状態に欠陥があったりするそうなので、うまく買い物できるようにしていきたいと思っています。いちど節約のために大量に買い出ししにいきましたが、結局重くて持って帰るのが大変だったので、買いすぎにはご注意ください。ただやはり物価は高く、円安の影響で日本円の2倍なので毎回換算すると気が遠くなります。特に外食は、メイン料理となると普通に2,500円~3,000円くらいするので、それよりもっと安いものを選ぶようにしています。とはいえ旅先では楽しみたいので日々の節約に注力していきたいと思っています。

洗濯については、寮のそばにランドリーの小さな建物があり一度外に出る必要があります。洗濯機は2.95-3ポンド、乾燥機は1.2ポンドもかかるので、一度の洗濯で計900円近くかかってしまうというかなり痛い出費です…なるべくまとめて洗濯して回数を減らせるように工夫しています。

イギリスの水道は、蛇口からは水とお湯がそれぞれ出てくるのが一般的で、2本の蛇口があるものもレバー式で調節できるものもありました。水道水は飲めないことはないのですが、不安なので沸騰させたりミネラルウォーターを買ったりしています。また、こちらは硬水なので、人によって合う合わないがあると思います。私も髪や手がとても乾燥してしまい、短期で来た友人にハンドクリームを調達してもらいました。

#### ・交流

大学のサークルに当たる Society には、Japanese cultural society と Keele craft society に入りました。前者では、先日節分のイベントがあり、多くの日本に興味があるイギリスの学生と交流することができました。今回は恵方巻きを作るイベントがあるので、ぜひ参加したいと思っています。後者は、毎週火曜日の夕方にあって、毎回異なるクラフトをすることができます。私はこれまで、ステッカーとモールフラワーを作りました。大学内で人気の society らしく、予想より多くの学生が参加していて驚きました。交流の輪を広げるとともに新たな趣味を見つけられるという良い機会になりそうです。

初めてのヨーロッパ、イギリスの地で、何もかもが新鮮で日本との違いをひしひしと感じながらも有意義な経験にするために奮闘しています。家族と別れて1人で飛行機に乗ったときは緊張と不安、恐怖でいっぱいでした。千葉大からの学生は私だけなので、孤独を感じて少し寂しくなることも多々あります。でも1人だからこそ、自分の行動力や勇気を成長させる機会にできるように一生懸命過ごしていきたい。キール大学の先生は優しい人が多く、学生も私のつたない英語をちゃんと理解しようとしてくれます。それにスーパーなどではふと目が合ったらにこっとしてくれたり、バスの行き先を尋ねたら一緒に案内してくれたり、イギリスの人の温かさに触れて幸せな気持ちになりました。全部を吸

収して、収穫たくさんので学期間にしていけるように頑張っていきます！！



寮 Lindsay Court



Keele Chapel



図書館 1時間ごとに鐘の音が鳴ります



キャンパスに牛！



Keele Hall



大学内の co-op



リスを見かけました！



大学内の costa coffee



(毎日) いろんなイベントがあります  
↑ Postcard making の様子



大学そばの街 Newcastle-Under-Lyme

